



新たな教材として

東城ロータリークラブから寄贈・9/13

No.6

東城ロータリークラブが地域への社会奉仕活動の一環として、東城中学校へUSBヘッドセットとタッチペンが寄贈されました。

当日は、東城中学校で寄贈式が行われ、東城ロータリークラブの谷社一朗会長から中村正博校長へ、物品が手渡されました。

寄贈された物品は、英語のリスニング授業などで使われ、実際に使用した3年生の藤岡璃緒さんは「これらの物品を活用することで、楽しく学習することができています。今後も自分の学力をさらに向上できるよう頑張ります。本当にありがとうございました」と話しました。



▲谷会長（右）から中村校長（左）へ手渡された

安心・安全な地域にするために

街頭指導運動・9/21～30

No.8

「秋の全国交通安全運動」に合わせて、口和地域で子どもや高齢者をはじめとする歩行者の事故防止や、自転車の安全運転を推進する街頭指導が実施されました。

当日は、口和小学校付近の交差点で地域ボランティアと警察による街頭指導が行われ、元気いっぱいに通学する児童に対して「おはようございます。登下校中は交通安全に十分に気を付けて登校してください」と呼び掛けました。

地域ボランティアの人は「私たち一人一人が交通ルールを守り、交通マナーの向上に取り組むことが交通事故防止につながると思う。子どもたちの安心・安全のためにも、今後もこの活動を継続していきたい」と話しました。



▲声掛けを行う警察官と地域ボランティアの皆さん

挑戦する気持ちが大事

総領小学校 ふれあい学習会に参加・10/21

No.5

総領小5・6年18人が、総領保健福祉センターで行われた「ふれあい学習会」に参加しました。学習会は、講師の山本海斗さんと庄原市社会福祉協議会の二上明さんとの対談形式で行われました。山本さんは中学生の時、頸椎損傷のため胸から下が自由に動かせなくなりましたが、リハビリに取り組み、車いすマラソンにも挑戦しています。山本さんは「ハンデがある体でもできることはたくさんある。困ったときは声を掛けるので、見守ってほしい」と話しました。

最後に、競技用車いすに試乗した児童は「いすが深く姿勢を保つのが難しかった。この姿勢で長距離を走るのはすごい」と驚いていました。



▲競技用車いすに試乗する児童

花と緑があふれるまちづくり

庄原小学校で花の寄せ植え・10/11

No.7

庄原自治振興区による市街地活性化の一環として、「庄原花のまち応援隊」の指導の下、花の寄せ植えが庄原小学校で行われ、6年生60人が参加しました。

この取り組みは、「花と緑があふれるまちづくり」を目的として、春と秋に市街地の街路沿いや駅周辺などに約300個のプランターを設置するものです。

児童は、講師の齊木義伸さんから花の特徴や寄せ植え方法について説明を受け、和気あいあいとケイトウやナデシコなど5種類の花を、準備されたプランターに植えていきました。

寄せ植えされたプランターは、11月末まで市街地に飾られる予定です。



▲熱心にプランター作りを行う児童

夜空に願いをこめて

第19回東城遊夏祭・10/2

No.2

本年8月の大雨により延期となっていた「第19回東城遊夏祭」が開催されました。今回は、コロナ禍に対応した新しい形として、無観客で花火を打ち上げ、YouTubeで映像が配信されました。

東城地域の園児が願い事を紙に書き、それを張り付けた花火や医療従事者などへの感謝の気持ちを込めた花火が打ち上げられ、秋の夜空に色とりどりの光の花が咲き誇りました。

配信された映像には「来年こそ帰省した皆さんと一緒に楽しめるといいですね」といったコメントが寄せられ、外出や帰省の自粛をしている人へオンライン映像を通して、元気を届けるイベントとなりました。



▲願い事を書いている園児

▲打ち上がった花火

自然が生んだ芸術品

葉脈標本づくり体験講座・10/17

No.4

比和自然科学博物館で、葉脈標本（スケルトンリーフ）づくり体験講座が行われ、市内外から26人が参加しました。

スケルトンリーフとは、植物の葉肉を取り、葉脈だけを残した標本で、学校の教材やアクセサリの素材として使用されています。

参加者は、講師の秋山美文さんから葉脈についての説明を受け、ツバキやヒイラギなどの葉を使って標本づくりを行いました。歯ブラシでたたいて葉肉を取り除く工程では、葉脈が破れないように注意しながら真剣な表情で作業をしていました。

完成したスケルトンリーフを見て参加者は、自然の繊細な美しさに感動していました。



▲慎重に葉肉を取り除く参加者

秋のみのりを体験

ふるさと村高暮で農業体験・10/19

No.1

「たかの遊☆学☆隊」主催の農業体験が、高野町ふるさと村高暮で開催され、福山市立南小学校の5年生46人が参加しました。

最初に、入村式が行われた後、児童は地元の農家を訪問し、収穫体験や試食、大型農機具の見学。普段はできない体験に興奮していました。

キャベツの収穫では、大きく育ったキャベツを一人一玉ずつ丁寧に収穫し、葉が何枚あるか数えたり、洗ってその場で食べてみたりと思い思いに楽しんでいました。

キャベツを食べた児童からは「甘い」「おいしい」と歓声が上がっていました。



▲キャベツを収穫し喜んでいる様子

快適な乗り物で町探検

備後西城駅でレンタサイクル開始・10/8～

No.3

備後西城駅でE-BIKE（電動アシスト付き自転車）のレンタルが開始されました。

この活動は、JR芸備線の利用増加や、西城町の観光促進を目的に、西城町観光協会が実施しています。

レンタルできるE-BIKEは、家族連れでも楽しめるように、速く走れるスポーツタイプ、女性や初心者も乗りやすい軽量コンパクトタイプの2種類が用意されています。今後は、町内を紹介するマップを作成するなど、E-BIKEをレンタルした人により一層西城の魅力を感じてもらえるよう、準備が進められています。

同観光協会事務局の岡崎優子さんは「とっても気軽に運転ができるので、ぜひ乗っていただき町の景色を楽しんでほしい」と話しました。



▲E-BIKE（電動アシスト付き自転車）